

台湾・台北支店を現地法人化 ハイテクソリューション提供を強化

2025年10月12日

株式会社日立ハイテクノロジーズ（執行役社長：林 将章／以下、日立ハイテク）は、2005年9月7日付けにて台湾に現地法人を設立し、10月1日付けにて台湾の台北支店業務を移管し、営業を開始しました。

現地法人の社名は「台湾日立ハイテクノロジーズ株式会社」（以下、台湾日立ハイテク）。日立ハイテクが全額出資を行い連結対象会社となります。

台湾日立ハイテクは、事業と経営の真の現地化を推進し事業の成長・拡大を図り、併せて地域統括機能を拡充することで、半導体製造装置、液晶製造装置、情報機器、電子部品、電子材料等の販売および輸出入を中心に業容の拡大を図ります。

日立ハイテクグループにおける台湾の現地法人は、2000年に半導体製造装置の保守サービスを主目的に設立したアジアヒスコ社（新竹市）に続き、今回で2社目となります。

日立ハイテクは、1970年に台北支店を設立し営業活動を行ってきましたが、今回の現地法人化を契機に顧客とのパートナーシップの強化、最適なハイテクソリューションの提供に努め、台湾における事業拡大を図り、2007年度に1,000億円の売り上げ（取扱高ベース）を目指しています。

<新会社の概要>

社名	台湾日立ハイテクノロジーズ株式会社
所在地	台湾台北市中山北路二段44号10 F
代表者	董事長 小川 達男
資本金	6千万台湾ドル(約2億円) (日立ハイテク 100%出資)
従業員	55名

お問合せ先

お問い合わせ頂く前に、当社「[個人情報保護について](#)」をお読み頂き、記載されている内容に関してご同意いただく必要があります。当社「[個人情報保護について](#)」をよくお読みいただき、ご同意いただける場合のみ、お問い合わせください。

お問い合わせ先

社長室 広報・IRグループ 担当：塩澤
TEL：03-3504-5637